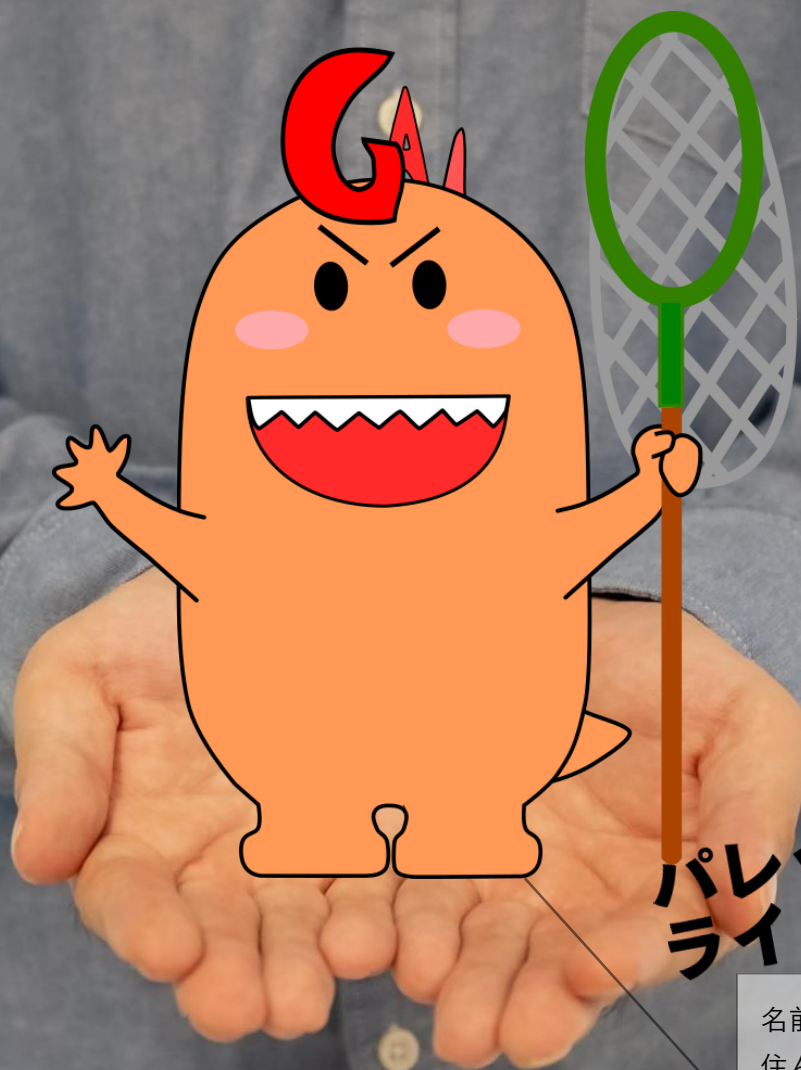


パレット・レターは「子ども若者発達支援センター」からのお知らせです。

パレット・レター



パレットに
ライバル登場!?

名前 | ガレットン
住んでいるところ | Palette
好きな食べ物 | カレー
好きなもの | 虫
嫌いなもの | 甘いもの
性格 | 負けず嫌い
考案者 | S君 (裏面参照)

No. 19
J u l
2 0 1 9

2019年7月9日発行



第2期 四国中央市子ども若者支援 ネットワーク会議 を開催しました。

6月27日に開催された令和元年度第1回四国中央市子ども若者支援ネットワーク会議は、任期満了に伴い改選された、第2期の委員による最初の会議でした。

会議の冒頭には、市を代表して大西福祉部長から、委員を代表して藤枝委員に委嘱状が交付されました。

会議は、第1期に引き続き会長及び副会長に選任された、藤枝委員と井原委員のもと進められ、改めて本会の意義や役割の確認がなされたほか、今回はテーマトークを行いました。

「各機関で今一番必要なもの」をテーマに、委員から「障がい等を受容することが難しい方のための、病院や福祉サービスの手前の居場所が必要」「障がい等の診断がなくても受けられるサービスが必要」「企業が求める人材の確保と育成のために、産業界と連携することが必要」「パレットによる、他の施設への情報やノウハウの発信が必要」「当事者や支援者のためのアドバイザーやコーディネーターのような存在が必要」「民間主体によるネットワークの形成が必要」「不登校の子どもたちのための居場所が必要」といった多くの意見が出されました。

子ども若者発達支援センター会報

パレット・レター

- 発行 -

四国中央市子ども若者発達支援センター

TEL 0896-28-6029 FAX 0896-28-6030

palette@city.shikokuchuo.ehime.jp



カラー版のパレット・レターはこちらで
見ただけです



Palette公式フェ
イスブックはこ
ちら

Palette またはパレット・レターに関するお問合せは上記まで。
パレット・レターの表紙になってくれるお子さんを募集します。
ご協力いただける方は、Palette の職員または上記までご連絡ください。

interview



「あせらず ちょっとずつ」

S君(20代)

平成29年から始まった、子ども若者総合相談センターの「若者相談」。今回、この若者相談から、就職という新たな一歩を踏み出したS君に、インタビューをしました。

Palette (PALETTE) ご就職おめでとうございます。就職が決まったときの気持ちを教えてください。

S君(以下「S」) うれしいと思いました。障害者就業・生活支援センターを通じて就職が決まるなんて思いませんでした。自分の力で仕事を見つけるものだと思っていましたが、とにかく決まってくれました。もしセンターを知らなければ就職はできなかったと思います。決まったとしても長続きしていなかったと思います。東予若者サポートステーションでは、パソコンやコミュニケーションに参加しました。少しでも学んだことをいかせるようにがんばっていました。就職することが決まりました。皆さんがいないと、間違いなく僕は大きなことになっていたと思います。本当に感謝でいっぱいです。皆さん本当にありがとうございます。これからがんばっていきます。

P 障がい者雇用枠で働こうと思ったのはなぜですか。

S 専門学校を卒業し、正社員として就職しましたが、自分にはあわずうまくいきませんでした。障がい者雇用枠があることを知り、家族とも話し合い、障害者手帳の取得を考え、病院を受診しました。自分らしく長く働けるだろうと考え、この選択をしました。

【障がい者雇用】障害者手帳を取得し、周囲の人から障がい特性への配慮を受けながら働くことをいいます。

P パレットでの思い出を教えてください。

S パレットでは色々なことをしましたが、1番楽しかったことは料理です。オムライスや肉じゃがなどたくさんつくってきました。パレットでの料理づくりがきっかけで家でもたまにするようになりました。オムライスは簡単そうに見えますがやってみるととても難しく料理の奥の深さを知りました。料理をするときは自分の腕にあったものからやっていったほうがいいと思います。

あと楽しかったことはフレ活のTea Partyです。他の人たちと話をしたり、ゲームをしたりしてとても楽しかったです。料理のときもほかの人といっしょにしたりしましたが、あまりしゃべれませんでした。



しかしこうしてフレ活の時間を取ってくれたおかげで、ゆつくりと話をしていっしょにお菓子をつくることができました。あと楽しかったことは陶芸です。陶芸は前にやったことはありますが、今回はとても本格的なものでした。不器用なので思うようにできませんでした。が手伝ってくれたおかげでなんとか完成しました。陶芸はあまりしないので体験できてよかったです。



【フレ活】自分を、誰かをフレッ・フレと応援したい気持ちを大切に集う若者交流の場所です。

5月には、Tea Partyを開き、おしゃべりを楽しみました。今後もイベントを予定していますので、興味がある方は子ども若者総合相談センターまでお電話ください。

☎ 28・6266



profile

名前 | S
年齢 | 20 歳前半
趣味 | 読書、ランニング、物語を書く
好きなTV番組 | 水曜日のダウンタウン、ナニコレ珍百景
好きな曲 | ザ・コインロッカーズ「憂うつな空が好きなんだ」
好きな本 | 西尾維新「掟手紙今日子の備忘録」
住野よる「また同じ夢を見ていた」
好きな言葉 | 情けは人の為ならず、旅は道づれ世は情け
リラックスできる場所 | 静かなところ、図書館、海の見える砂浜

P 最後に今悩んでいる人たちにメッセージをお願いします。

S 自分らしく毎日を過ごしてください。僕が言ってもあまり意味はないと思いますが、なにか興味があればそれをやってみましょう。参加してみたいセミナーがあったら、参加してみましょう。今まで僕が過ごしてきたときはそんな感じでした。あせらずにちょっとずつ進みましょう。

P ありがとうございます。

S君との出会いは、平成30年8月1日でした。電話で話すことから始まったS君とのセッションは、1年後には週に1回のペースでパレットに通ってくれるようになっていました。



その中で、希望の事務職に就くことを目標にチャレンジが始まりました。東予サポートステーションでのボランティア体験、同世代との交流を目的としたパレットへの合同来所など、S君の初めてを近くで応援させていただきました。

「自分はいま少しなら…」という周りに迷惑をかけているのでは…」という悩みや、自分を知るために検査を受けると決心するまでの葛藤も、見守らせていただきました。

初めましての日から、できることを自信につなげてきた1年間。自分を信じることをポイントに、次のスタートをきってください。

パレットに来ることから始まる時間を一緒に経験させてくれてありがとう。